

# みんなで子育て

西濃県務所 振興防災課 振興防災係 家庭教育担当：酒井 俊亘

電話：0584-73-1111 <内線212>

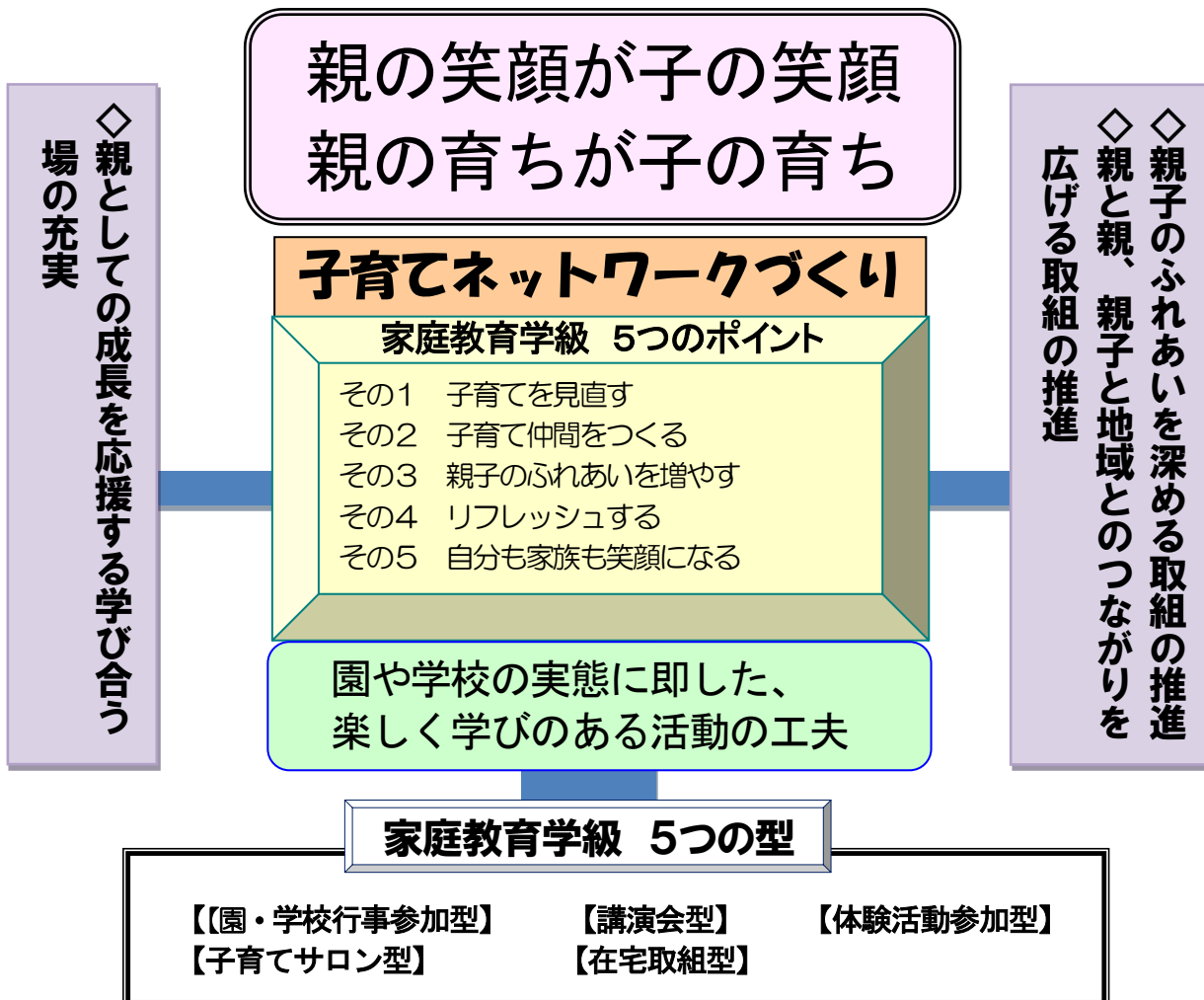


## 家庭教育学級の充実に向けて

「仕事が忙しく、子育てに十分時間をかけられない。」「毎日、生活するだけで精一杯…。」確かに、「子育て」と働き盛りの時期は重なり、毎日毎日時間はあっという間に過ぎていくことでしょう。

子どもは乳児から青年期の間に、驚くほどのスピードで体と心を成長させます。そして、この時期に「大人から適切な支援・援助を受ける子ども」と「そうでない子ども」とでは、親子間の愛着形成や、心の成長の面から大きな違いが表れてきます。さらに、子育ては、未来を担う人づくりの基盤です。これからの社会を担っていく人材を育成するという、未来に向けての私たちの大切な仕事でもあります。子育ては、AIが発達しようとも、最後まで人間がすべき高度な知的労働と言われています。

西濃では、以下のことを家庭教育学級開催に向けての願いとしています。家庭教育学級・子育て活動を推進される皆さん、どうぞよろしくお願い致します。



## 家庭教育学級運営マニュアル（改訂版） 「みんなで子育て」

最初に、読んでいただきたい冊子です。

「家庭教育学級の進め方」「参考となる事例」など、家庭教育学級を行う上で、必要な情報がまとめてあります。

### ～家庭教育学級とは～

- ◇「子育て」や「しつけ」について学んだり、悩みを話し合ったりする場
- ◇家庭教育のあり方を学び、自らを振り返る場

### ～家庭教育学級のねらい～

- ◇学びの「場」と「内容」の提供
- ◇保護者同士の「交流の場」づくり
- ◇親子の「ふれあいの場」づくり



### ～採り入れたい家庭教育学級の5つの学習形態～

- A：学校行事参加型・・・授業参観、PTA活動などの行事の時に開催。
- B：体験活動参加型・・・料理、手芸、ヨガ、親子体操などの体験活動講座。
- C：講演会型・・・テーマに即した講師による専門的な講演。
- D：子育てサロン型・・・小グループで互いの経験や子育ての交流。
- E：在宅取組型・・・「わが家の約束」運動など、各家庭での取組。

平成30年度に各幼稚園・こども園・幼保園・小学校・中学校に配布しました。

## 西濃地区家庭教育学級リーダー研修会

令和2年度 会場開催は行いません。  
資料の送付による開催とします。

【小・中の部】令和2年5月14日（木）、【幼・保の部】令和2年5月21日（木）に揖斐川町地域交流センター「はなもも」にて開催予定のリーダー研修会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となりました。後日、資料を送付しますので、家庭教育学級の参考にしてください。



## 家庭教育学級年間指導計画の提出

この通信の後述の内容や下記の冊子を参考にて、家庭教育学級の1年間の計画を立て、5月29日（金）までに、市町の家庭教育担当に2部提出してください。今後、計画をしても、変更することが出てくるとは思いますが、現段階での計画でかまいません。

「乳幼児編」の改訂版は、後日幼保に1部ずつ配布します。



「みんなで子育て」II～IV家庭教育プログラム  
(乳幼児期編、小・中学校編、次世代編)

## ご活用ください!!

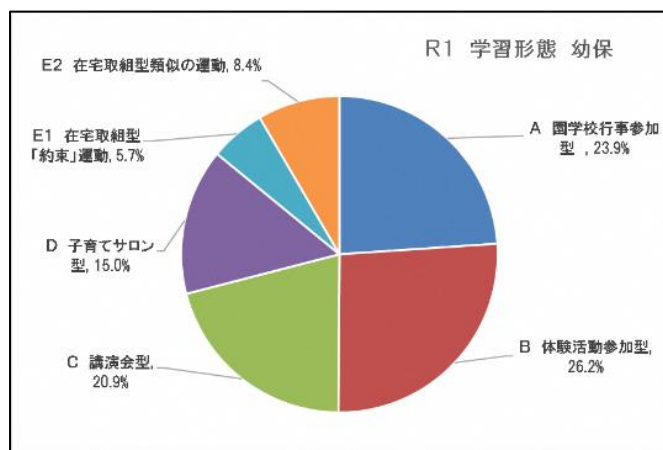
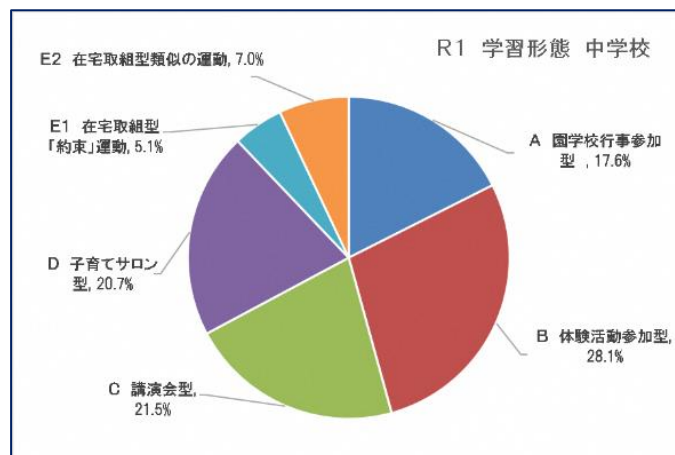
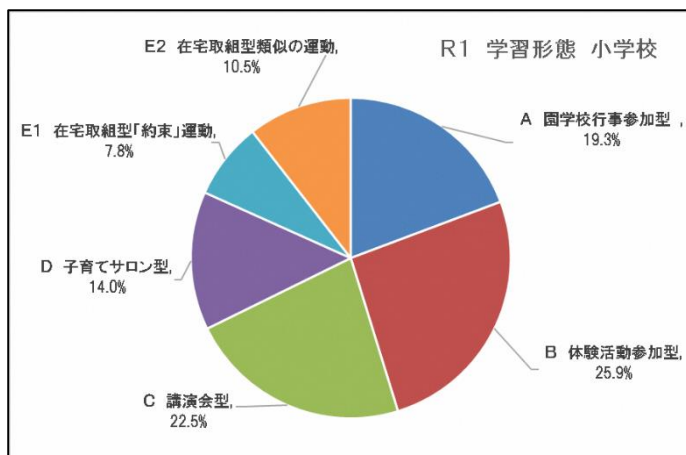
運営方法に困った時などに、ぜひお役立てください。これらの資料は、県のホームページでご覧いただけます。

岐阜県 家庭教育プログラム ← 検索

# 家庭教育実施状況調査より(令和元年度)

## 〔西濃で行われた学習形態〕

例年、A：園学校行事参加型、B：体験活動参加型、C：講演会型の割合が多いですが、小・中では、D：子育てサロン型、E：在宅取組型を行う学校が増えてきています。



## 〔西濃での開催の工夫〕

家庭教育学級を開催する際、保護者の来園・来校の回数を減らすために、日程を調整して、保育参観・授業参観と家庭教育学級を同じ日に行うようになりました。

「午前中：家庭教育学級→給食試食会（お弁当）→授業参観・懇談」というように、1日に凝縮して行うところもあります。園・学校の担当者と相談や調整をしてください。

「型の組み合わせ」は平成30年度から増えています。D：子育てサロン型と組み合わせることによって、保護者同士の交流の場を作ったり、講演の内容を深めたりしています。また、D：在宅取組型と組み合わせることによって、家庭教育学級に参加できなかった保護者も同じように取り組むことができます。



H29	開催日時の工夫	型の組み合わせ
小学校	80.3%	76.3%
中学校	75.9%	69.0%
園	56.6%	73.7%
H30	開催日時の工夫	型の組み合わせ
小学校	89.3%	82.7%
中学校	80.0%	86.7%
園	26.6%	81.3%
R1	開催日時の工夫	型の組み合わせ
小学校	94.7%	89.3%
中学校	93.3%	83.3%
園	72.9%	81.4%
H30→R1	開催日時の工夫	型の組み合わせ
小学校	+5.3%	+6.7%
中学校	+13.3%	-3.3%
園	+46.3%	+0.2%

# 家庭教育学級の年間計画について

新型コロナウイルス感染症の予防のため、昨年度までの計画を引き継ぐことは難しくなりました。また、計画をしていても、変更する場合もあるでしょう。特に、人が集まる機会を極力減らすことを考えると、今まで行ってきた「園・学校行事参加型」「体験活動参加型」「講演会型」「子育てサロン型」を計画する場合には、次のような配慮が必要となります。

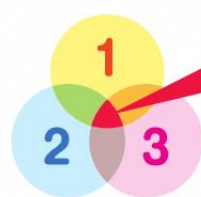
「密室で換気が悪い」「手の届く距離に多くの人がいる密集」「近距離での会話や発声がある密接」という3つの「密」条件が同時に重なる場を徹底的に避ける。

⇒発熱などの風邪症状のある場合や風邪症状のある家族がいる場合は参加しない。

⇒椅子と椅子、人と人との間隔をあける。1時間に1回は換気をする。

⇒参加者はマスク着用、会場に入る前の手洗い・手指消毒、咳エチケット

新型コロナウイルスへの対策として、**クラスター(集団)の発生を防止することが重要**です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろった場所が  
クラスター(集団)発生の  
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には消毒などを行ってください。

3つの【密】、絶対避けて		
換気の悪い	密閉空間	ぎゅうぎゅう
大勢がいる	密集場所	むんむん
間近で会話する	密接場面	がやかや



厚生労働省

厚労省 コロナ



## A：学校行事参加型・・・授業参観、PTA活動などの行事の時に開催。

- 参観・参加後、保護者から感想を集め、文書で様子を伝える。
- 参観・参加後、子どもへ誉め言葉カードを送る。

## B：体験活動参加型・・・料理、手芸、ヨガ、親子体操などの体験活動講座。

- 「体験活動参加型」として計画していた活動を家で取り組んでもらう。
- 材料と作り方を配布し、親子で取り組む。
- 作品の写真・感想を集めて、文書で伝える。

## C：講演会型・・・テーマに即した講師による専門的な講演。

- 市町のテレビ会議システムで講話を配信する。
- 人との間隔がとれる部屋でビデオを視聴する。
- 講話内容のプレゼンや資料を配布し、感想を集めて、文書で伝える。
- 講話後、在宅取組型を行い、実践する。



## D：子育てサロン型・・・小グループで互いの経験や子育ての交流。

- 「近距離での会話・発声がある」ため、マスク着用。  
⇒1時間に1回は換気・咳エチケットの指導・マスク着用・間隔をあける。

## E：在宅取組型・・・「わが家の約束」運動など、各家庭での取組。

子ども達が家庭で過ごすことになり、親子の関わりがさらに大切になってきています。「在宅取組型」は、忙しくて園や学校の家庭教育学級に参加できない保護者の方も取り組むことできる学習形態です。しかも、保護者は子どもの成長やよさに気付くことができ、子どもは褒められることで自己肯定感を高めるといふよさがあります。社会が先の見えない不安につつまれ、保護者の皆様も子ども達も不安な気持ちになっています。寝る前のひととき、ぜひ、1日の生活の中で見つけた子どものよさを伝えたり、ハグやハイタッチなどのスキンシップをしたりして、心の安定と愛着を育ててほしいと願っています。

今年度は「在宅取組型」を中心に計画しましょう。

## 西濃「在宅取組」キャンペーン



## 「子どもと一緒に何しよう?!」



親子と一緒に過ごす時間が多くなることをよい機会ととらえ、

親子の絆づくり・ルールづくりに取り組もう。

家庭での取組を共有しよう。

「子どもが家にいて時間をもてあましている」「子どもの学力が心配だ」「これからどうなるのか先が見えない不安がある」など、様々なストレスを感じる状況になってしまいました。しかし、子どもと共にいる時間が十分にあるのは今だけかもしれません。それをプラスと考え、親子の絆を深めたり、子どもの自己管理能力・自己肯定感を高めたりする機会としていきましょう。「在宅取組型」の家庭教育学級を推進し、それぞれの園や学校独自に保護者へ働きかけていきましょう。

## 親子の絆づくりに取り組もう。

- ◇ 親子で食事を作る。お弁当を作り、外で食べて気分転換。(メニュー作り、調理、後片付けまで。)
- ◇ 親子でバーベキューをする。(火をおこしてお湯を沸かす。調理をする。) =災害に備える。
- ◇ 一緒に趣味を作る。(音楽、芸術、体育、理科の実験・観察、読書、野菜づくりなど)
- ◇ 親子で楽器演奏に挑戦する。
- ◇ 親子で玩具の技に挑戦する。(けん玉、お手玉、おはじき、ジャグリング、フラフープなど)
- ◇ 親子で体を鍛える。(ウォーキング、ジョギング、ダンス、ストレッチ、キャッチボール、テーブルテニス、リフティング、ドリブル、バドミントンなど)
- ◇ 親子で絵を描く。
- ◇ 親子で映画やアニメを見る。親子で同じ本を読む。
- ◇ 親子で何かを作る。(折り紙、工作、粘土、小物、陶芸、プラモデル、ジグソーパズルなど)
- ◇ 親子でゲームをする。(トランプ、ボードゲーム、将棋、オセロ、すごろく、パズルなど)
- ◇ 検定や資格に挑戦する。(漢字検定、英語検定、〇〇免許・資格)

## 親子のルールづくりに取り組もう。

岐阜県では、「在宅取組型」の一つとして、家庭内のあたたかい関わりを生み出すために、「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動を推進しています。後日、園や学校の実態に合わせて変更できる実践カードのデータをリーダー研修会の資料に入れて送付しますので、ご活用ください。

## 保護者の皆様へ

ちょっとした約束ごとであっても、続けていくというのは、大人でも難しいものです。でも、約束したことをきちんと守り続けることができれば、「できた!」という自信が芽生えることでしょう。

そうした子どものがんばりに対して、いつも声をかけてあげてください。保護者からの声かけがあると、子どもは「自分のことを見守ってくれているんだ」という安心感をもつことができます。また、大切な家族から見守られ認められることは、子どもの自信をさらに強くしてくれます。家庭のなかで安心感と自信をもって穏やかにすごすことが、次の取組のやる気へとつながっていきます。

ひょっとしたら、約束を守れない日があるかもしれません。そんなときでも、叱るのではなく守れるように励ましの声かけをしてください。自分で守ろうという気持ちを持てるような励ましの言葉が、子どものやる気を引き出してくれると思います。

岐阜聖徳学園大学教育学部  
教授 安藤史高

## 簡単に取り組みます

## 【取り組み方】

- ① 家族で話し合っ「わが家の約束」を決めます。
- ② 取組を実践カード等に記録します。
- ③ 実践中や実践後に、家族で互いの思いを伝え合います。

話そう! 語ろう! わが家の約束  
実践カード

年 組 名前

家庭教育を実践する日は、毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

## わが家の約束宣言



月日	/	/	/	/	/	/
曜日						
約束を守りましたか						

○取り組んだ感想や家族への思いを書きましょう。

○子どもへの励ましの言葉等をお願いします。

子どもから  
家族へのメッセージ

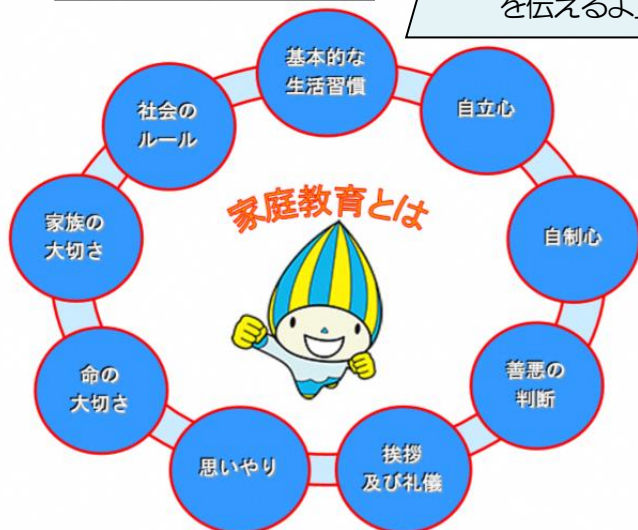
家族から  
子どもへのメッセージ

☆学校で楽しかったことやがんばったことも家族に話しましょう。

このカードを使って実践してみましょう!

## だれと？ どんな約束？

- ◆【家族みんなが】…「目を見てあいさつするよ」「毎日夕食の時に今日の出来事を話すよ」「家の仕事を分担するよ」など。
- ◆【子どもを中心に家族で】…学習の時間には家族のサポートを。「学習の時間には家族もテレビを消して、本を読むよ」など。
- ◆【保護者だけでも】…「毎日笑顔で見送るよ」「每晚1つ良いところを伝えるよ」「バランスの摂れた食事を作るよ」など。



園・学校で共通して取り組む内容を決める場合は、左の家庭教育で育む9項目に配慮し、社会の状況や子どもの発達課題から「学べきこと」と参加者の「学びたいこと」をタイアップして決めてください。



年間1つは、約束運動を計画してください。

### 【西濃「在宅取組型」の現状】

(園・学校数)

	「話そう！語ろう！わか家の約束」運動を実施	類似の運動を実施	実施していない	西濃園・学校数	在宅取組型を実施
小学校	41	55	3	75	94.7%
中学校	12	16	7	30	73.3%
幼保	20	33	23	70	57.8%

### 【西濃の「在宅取組型」の例】

- ・ 親子であたたかい言葉がけをしたり、お互いのよいところを見付けたり、ハグやハイタッチなどのスキンシップをしたりして、親子の関係を深めしていこうとする。
- ・ 清掃や料理（昼食・お弁当・一品）、読書などに親子で取り組み、ふれあいを増やす。
- ・ 手伝いのめあてや情報機器の約束を決めて生活する中で、自立心を育てる。
- ・ 親子で心温まる家庭の標語を作る。
- ・ 岐阜県道徳教育振興会議、岐阜県教育委員会が進めている「1家庭1ボランティア」に取り組む。
- ・ 子どもの居場所と絆づくり県民運動「あったかい言葉がけ運動」に取り組む。

## 西濃地区で子育てにかかわる皆様

この通信は、西濃地区の「家庭教育」「子育て支援」「家庭教育学級」に関わってくださっている方々に向けて、発行しています。今年度は、「子どもと一緒に何しよう?!」（西濃『在宅取組』キャンペーン）を行い、西濃地区の子育て情報、「家庭教育学級」の参考となる取組、時期に合った効果的な活動を伝えることで、家庭教育に関わる皆さんを応援します。先が見えず、手探りの1年間になると思いますが、共にこの大変な状況を乗り切りましょう。

ぜひ「親子絆づくり、ルールづくり」に取り組んだ事例を下記までお知らせください。

西濃県事務所 振興防災課 家庭教育推進専門職 さいとうしゅんり  
酒井 俊 巨  
TEL : 0584 - 73 - 1111 (内線 212) FAX : 74 - 9428  
Email : [sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp](mailto:sakai-toshinori@pref.gifu.lg.jp)



1年間、よろしくお願ひします。